

京牧 柏原の原野でハスカップの分布調査

富山県大の自然環境を文化と芸術の分野から見た研究の成果が、このたび、富山県立京牧高等学校(京牧高)で発表された。京牧高は、富山県立自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の指定校であり、京牧高の自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の指定校であり、京牧高の自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の指定校である。



ハスカップの分布調査を行う京牧高の自然環境文化センターの学生(左)と教員(右)。

苦東環境コモンズ

市美術博物館



立ち枯れたハスカップの木

自生地の環境の変化 乾燥原因が懸念

富山県立京牧高等学校(京牧高)の自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の学生と教員が、富山県立京牧高等学校(京牧高)の自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の指定校である。

富山県立京牧高等学校(京牧高)の自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の指定校である。

富山県立京牧高等学校(京牧高)の自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の指定校である。

枯れている木を多数確認

●国内最大の群生地と実証

富山県立京牧高等学校(京牧高)の自然環境文化センター(富山県立自然環境文化センター)の指定校である。